

交通安全地藏

宇目町小野市小藤旧日向道三叉路

あり、戦は大敗して志を果たせぬ結果となった。

嘉吉元年六月、將軍義教が赤松満佑に暗殺された時、大内持世もお伴して逃げてたが、背中を斬られて負傷し、その傷がもとで遂に死亡した。持直にとって二人の強敵が相ついで死んだことは、痛快事であつたらう。

柏江橋上から堅田川の清流を望めば、水は語らず、惟世の颯爽たる武者振が浮かんで来る。



この地藏さんは、宇目町小野市小藤旧日向三叉路に立っているもので、造立されたのは、享保十三庚申天総高八十センチメートルのものである。

この道は、江戸時代から日向に通じる間道で、ここを旅する多くの人達が、このお地藏さんに、道中の安全を願って往来したものと思われる。今もとき折、山仕事に行く人が、季節の花を手向けてお参りするのだろう。真新しい花が、供えられているのを目にする。



写真並びに説明 軸丸 勇